

環境マネジメント(モジュール6)・授業内容

1. EMS 誕生の背景(学習時間 25 時間)

今日ではごく一般的に語られる EMS であるが、その登場は、例えば財務関連などのマネジメントシステムのように古いものではない。第 2 次世界大戦後の本格的な工業化社会において、必要に迫られて生み出されたものといえる。

ここでは、EMS が誕生した背景を、いくつかの重要な要因との関連を考察しながら学ぶ。

環境意識の芽生え

地球環境問題

環境監査

EMS の制度化

2. ISO14001 の枠組みと今後の展望(学習時間 25 時間)

前項における EMS の背景を踏まえ、ISO14001 が実際にどのようなものであるのかを概観する。

また、マネジメントシステムとして、今後どのような進展がありうるのかを展望する。

基本理念

構成要素

認証取得の意義

審査制度

PDCA サイクル

より普遍的な問題への対応

3. ISO14001 の構築(整備および運用)の手順(学習時間 25 時間)

ISO14001 は「規格によって定められたシステム」であるから、満たすべき要件が定型化されている。

ここでは、その体制の整備および運用の手順全般を学ぶ。

環境方針・目的・目標

組織体制

環境側面

諸文書

教育

内部監査

継続的改善

4. ISO14001 導入の事例研究(学習時間 25 時間)

ISO14001 を導入した事業所の事例を研究し、その効果を検証する。そこから課題を抽出し、経営の武器となる「活きた」EMS のあり方を探る。

導入状況

事例研究

導入目的の明確化

継続的改善の実践

業務改革への戦略的活用

5. 比較マネジメントシステム論(学習時間 25 時間)

企業統治に用いられるマネジメントシステムには多様な切り口のものがあり、EMS はその一例ということになる。

ここでは、方向性や領域という意味合いにおいて EMS に近い次のものを取り上げ、概観する。

その上で、主に共通点を把握することにより、改めて、「マネジメント」に用いられる仕組みの本質に対する理解を図る。

品質管理システム(ISO9000)

労働安全衛生管理システム

リスクマネジメント

内部統制

コンプライアンス